

兵庫県理学療法士(協)会  
代議員立候補者

定 数 : 17 名

立候補者数 : 18 名



氏名 山口 良太

都道府県士会 兵庫県

年齢 38

勤務先名称 (株)アールイーコンセプト

### 協会・士会役員歴

平成28年～ 兵庫県理学療法士会 理学療法講習部員  
平成29年～ 兵庫県理学療法士会 理学療法講習部長  
平成29年～ 兵庫県理学療法士会 理事

### 立候補の趣旨

私は兵庫県理学療法士会創立50周年の記念すべき年である、平成29年に兵庫県理学療法士会理事に選出していただきました。

会員の平均年齢が約32歳である中で、38歳の私が最年少の理事であるということを誇りに思いつつ、これまでの50年とこれからの50年を繋ぎ、そして新しい50年を創っていく。その役割を担っていると自負しております。

この想いは県士会に留めることなく、協会においても同様にこれからの50年を創っていくために尽力して参りたいと存じます。

私は理学療法士の未来を幅広い世代の会員の皆様と創っていくために日本理学療法士協会の代議員に立候補いたします。



氏名 山本 克己

都道府県士会 兵庫県

年齢 61

勤務先名称 一般社団法人 兵庫県理学療法士会

### 協会・士会役員歴

(一社) 兵庫県理学療法士会 副会長・事務局長 現職 平成27年度～  
(公社) 日本理学療法士協会 代議員 平成24年度～  
同 士会組織強化委員会委員 平成29年度～  
第47回日本理学療法学会大会 事務局長 平成24年度  
第25回兵庫県理学療法学会大会 大会長 平成25年度  
第55回近畿理学療法学会大会 副大会長 平成27年度

### 立候補の趣旨

現在、理学療法士が抱えている課題は、医療制度改革や地域包括ケア体制の確立などの制度やシステムの課題の他、理学療法士数の急増、就業需給バランスの変化に伴う就業条件悪化、教育問題や社会人としての適性など数多くあり、これらの解決を図るためには、医療、福祉、介護、教育などの各分野で明確なビジョン、企画力、実行力が求められています。学術的・技術的な基礎水準の向上に裏付けられた社会的な地位の向上と、自らの生活を確保していくという至上命題のために、一丸となって将来の展望を切り開いていかなければなりません。理学療法士を取り巻く環境は厳しさを増し、求められるものはさらに高くなってきております。

日本理学療法士協会においても上記の課題に対して、即応できる効率的、機能的な組織づくりと運営体制の構築が必要があり、対外的には、国民に対して自らの地位や有益性を強靱な意志と意見表明ができる職種・団体でなければなりません。

私は長年、地域の中で地域の住民や団体と密接に関係を培ってきた行政経験をいかし、また、県士会の常勤の役員としての経験も踏まえ、組織力強化を図り、上記課題解決に努め、地域包括ケアの推進や、理学療法士の職域の拡大と資質向上、地位向上に努めたいと考えて立候補いたしました。

皆様とともに理学療法士がさらなる高みを目指す活動をしていくために、よろしくご支援をお願いいたします。



氏名 小山 長

都道府県士会 兵庫県

年齢 42

勤務先名称 新須磨病院



氏名 鮫島 一雄

都道府県士会 兵庫県

年齢 62

勤務先名称 神戸総合医療専門学校

### 協会・士会役員歴

平成18年 一般社団法人 兵庫県理学療法士会 神戸(西)ブロック ブロック長  
 平成19年 一般社団法人 兵庫県理学療法士会主催 第20回兵庫県理学療法士学会  
 準備委員長  
 平成24年 公益社団法人 日本理学療法士協会主催 第47回日本理学療法学会  
 (兵庫)学術編集部 部長  
 平成27年 公益社団法人 日本理学療法士協会近畿ブロック主催 第55回近畿理学療  
 法学会 広報・渉外局 局長  
 平成27年 一般社団法人 兵庫県理学療法士会 理事  
 平成28年 公益社団法人 日本理学療法士協会 代議員  
 平成28年 一般社団法人 兵庫県理学療法士会主催 第28回兵庫県理学療法士学会  
 大会長  
 平成29年 一般社団法人 兵庫県理学療法士会 理事

### 立候補の趣旨

私は平成27年度に兵庫県理学療法士会の理事として当選し、士会の運営に関わることとなりました。

兵庫県の会員数増加に伴い、地域での士会活動の運営が期待される中、理事会ではブロックの支部化と銘打ち、地域、施設間の連携強化、独自性を持った事業の展開など、現場に直結するシステム構築に尽力して参りました。

一方、協会では、社会情勢の変化や、卒前・卒後教育、専門領域などの学術、技術の向上といった、理学療法士の地位向上、職域拡大に向けたあらゆる対策が協議されます。私は士会理事として、これら協会の意向を受け止め、協議し、県下会員の皆様に伝え、よりよい専門職の地位向上、充実した地域連携を図らなくてはならないと考えております。また、県下会員の声を取りまとめて協会に届けることも、士会理事の重要な責務と考えております。

私は士会と協会との間における双方向の関りを強化し、迅速な対応力と機能性を有した士会づくりの一助となるべく、代議員選挙に立候補致します。

### 協会・士会役員歴

平成9年～平成15年 兵庫県理学療法士会 選挙管理委員長  
 平成16年～平成27年 兵庫県理学療法士会 局長・理事  
 平成27年～現在に至る 兵庫県理学療法士会 監事  
 平成22年～現在に至る 日本理学療法士協会 代議員

### 立候補の趣旨

私は、兵庫県理学療法士会局長・理事を12年行い、現在は監事として兵庫県理学療法士会の活動に、さらに平成22年から8年間、日本理学療法士協会代議員として協会活動に参画してきました。協会の新人教育プログラム制度、認定理学療法士・専門理学療法士制度、理学療法士講習会のシステムや内容の変更について、協会代議員として提案や意見を日本理学療法士協会執行部に提言してきました。

さらに、協会主体で行われる講習会・研修会と兵庫県理学療法士会主体で行われます講習会・研修会の位置づけや関連性・整合性について兵庫県理学療法士会会員に混乱が生じないように、よりわかりやすい説明やシステムを構築してまいりました。

理学療法士が公私ともに充実した生活を送るためには、兵庫県理学療法士会だけでなく日本理学療法士協会の発展と、双方の連携は非常に重要です。

理学療法士養成校の教員として24年勤務してまいりましたが、当初の課題であった量的充足は十分達成されたと思います。今後はこれまで以上に理学療法士の質的充実を目指す必要があります。その為には、養成施設と実習施設の質的向上が不可欠です。それを行わなければ、医療・福祉・保健分野で働く理学療法士に夢と希望のある未来はやってこないと思います。

理学療法士がこのような状況の中で、一層発展するために微力ですが今後も引き続き代議員として尽力したいと考え、日本理学療法士協会代議員に立候補いたします。

何卒、宜しくお願いいたします。



氏名 堤 万佐子

都道府県士会 兵庫県

年齢 47

勤務先名称 宝塚リハビリテーション病院

### 協会・士会役員歴

平成21年～平成27年3月 兵庫県理学療法士会阪神北ブロック長  
平成27年7月～現在 兵庫県理学療法士会理事社会局担当  
平成28年～現在 日本理学療法士協会代議員

### 立候補の趣旨

今期日本理学療法士協会代議員に立候補をいたしました兵庫県理学療法士会の堤です。私は兵庫県理学療法士会理事になり2期目を迎えます。現在は社会局でスポーツ活動支援部・職能部・健康増進部・渉外部を担当しています。各部長から意見を伺い、毎日が勉強だと感じております。

兵庫県では特に管理者ネットワーク構築と地域包括ケアシステム構築に関しては急務な課題であります。会員にわかりやすく伝え理解を得ながら構築していく必要があると思います。そして兵庫県での活動が協会の活動に繋がりに貢献できるよう尽力したいと考えております。現状の課題をうけとめ、理学療法士の未来が明るいものであるため代議員に立候補いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。



氏名 久保田 健二

都道府県士会 兵庫県

年齢 52

勤務先名称 公立神崎総合病院

### 協会・士会役員歴

協会役員：平成24～25年度、26～27年度、28～29年度 代議員  
兵庫県理学療法士会役員：平成16年～24年 局長 平成25年～ 理事

### 立候補の趣旨

理学療法士が保健・医療・福祉の各分野で社会的に認められる存在となるためには、個人の努力に加え組織的な活動が重要です。理学療法士の認知度は向上とともに、社会的地位が追いついていない現状があると思います。就職・収入・仕事に対する満足度などで、解決すべき多くの問題が存在しています。また、地域包括ケアシステムにおいて我々の専門性を発揮することで、理学療法士が地域社会で貢献できるような環境にして行くという大切な課題があります。

これらの問題や課題を解決するためには、幅広い教養と知識技術を身につけた理学療法士を育成することと協会が強い組織力を備えることが求められます。特にここ数年で組織力・政治力の重要性を改めて感じた方も多いのではないかと思えます。地域包括ケアシステムや生涯教育制度等の取り組みを成功させるために、協会と士会の連携が不可欠で、士会員の声を確実に協会に届けていく必要があります。今まで、私は微力ながら会員の皆様のため協会・士会の活動を続けてきました。今後も少しでも会員の利益や協会・士会の発展のために貢献できるように代議員に立候補いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。



氏名 今在家 信司

都道府県士会 兵庫県

年齢 61

勤務先名称 神戸医療福祉専門学校三田校

### 協会・士会役員歴

### 立候補の趣旨

理学療法士の現状は、2025年問題を迎えるにあたって、介護保険や医療制度の見直し等、PTの周辺状況も大きく変わってまいります。また少子化に伴う理学療法士の質の問題等、取り組むべきものは山積みです。

現在私は、理学療法士養成校に勤めておりますが、臨床が求めている理学療法士と、学生の質が年々格差が大きくなってきております。単にスペシャリストだけの育成ではなく、ゼネシャリストの育成を常に頭に入れてないと、職種としての将来展望が危ういものになりかねません。

教育も、変わり行く世の中の流れを常に敏感に感じ取り、変わって行かねばなりません。また、その一方、「原点回帰」という、基本的な王道、本流を見つめ直すチャンスと捉え、変化していくもの、継承していくものを明確化していきたいと思っております。

理学療法士としては古株ですが、今までの経験を伝承していくものとして、この度立候補させていただきます。



氏名 檀辻 雅広

都道府県士会 兵庫県

年齢 55

勤務先名称 協和マリナホスピタル

### 協会・士会役員歴

平成10年～15年 社団法人日本理学療法士協会 社会局調査資料部 部員  
 平成13年～16年 社団法人兵庫県理学療法士会 阪神南（西宮芦屋）ブロック委員  
 平成16年～21年 社団法人兵庫県理学療法士会 阪神南（西宮芦屋）ブロック長  
 平成25年～ 一般社団法人兵庫県理学療法士会 理事  
 平成25年～ 公益社団法人日本理学療法士協会 代議員

平成15年 第16回兵庫県理学療法士学会 学会長  
 平成24年 第47回日本理学療法学会 演題管理部長  
 平成27年 第55回近畿理学療法学会 学術局長

### 立候補の趣旨

私たち理学療法士は、医療・保健・介護・福祉、健康増進、介護予防など多岐にわたる分野で国民の生活に大きく関わりを持ちます。また、公益社団法人である本協会は、予防理学療法・疾患別理学療法・病気別理学療法を確立し、地域包括ケアシステムにしっかりと位置付けたいと考えています。そのための最重要事項は、質の高い理学療法を提供できる理学療法士を育成することであり、臨床実習前教育・臨床実習教育・卒後教育・生涯学習の連携システムの構築は欠かせません。このシステムの構築には、本協会本体だけでなく、地方ブロックや都道府県理学療法士会が密に連絡を取り合い、同じ方向に向かって進まなければならないと考えます。

代議員は県士会の代表として、協会の議事や討議、議決に参加する職務を持ちます。また、単に参加するだけでなく議決された事項に沿った方向性を県士会の運営に反映させる必要があります。さらに、協会の考える方向が全て正しいとも限らないため動向を監督しながら、県士会員の意見や要望を協会に届けることも重要です。

このたび微力ですが代議員としての活動を継続したく立候補いたします。どうぞ宜しくお願いいたします。



氏名 中川 心みよ

都道府県士会 兵庫県

年齢 49

勤務先名称 明和病院



氏名 正木 健一

都道府県士会 兵庫県

年齢 49

勤務先名称 ㈱ひまわり

### 協会・士会役員歴

平成13年～15年 阪神南(芦屋・西宮)ブロック長  
平成20年～現在 システム管理部部長  
平成23年度～平成24年度 兵庫県理学療法士会 局長  
平成25年度～平成29年度 兵庫県理学療法士会 理事  
平成26年度～平成29年度 代議員

### 協会・士会役員歴

平成24年度～現在 兵庫県理学療法士会 事務局財務部長

### 立候補の趣旨

医療や介護の現場は地域包括ケアシステムという大きな看板の下、病床機能編成や在宅医療への推進など急速な変化を迫られています。また、臨床の現場のみならず、教育、企業など様々な分野でも理学療法士として働く上で、その変化は避けて通れません。しかし、理学療法士一人一人がそれらに個々に対応するのは非常に困難です。そのため、日本理学療法士協会、兵庫県理学療法士会は職能団体として重要です。会員の教育やサポート、関連各職種との連携、各団体との折衝、情報の取得・共有、社会貢献、広報活動などその活動は多岐にわたります。協会も県士会も将来を見据え、様々な変換を行おうとしており、2つの組織はより一層密な関係にならなければなりません。その中で、代議員は協会と県士会をつなぐ重要なパイプ役となります。引き続き代議員として協会の行動を県士会会員に伝え、会員の代表として協会に意見を、また県士会の活動に生かしていきたいと考えております。

### 立候補の趣旨

私たち理学療法士は保健医療福祉の分野において、健康的な生活を送る為に必要な身体機能と生活活動を改善し、参加へのサポートを行う専門家です。また介護予防やスポーツ分野などにおいて、持ちうる職能を多様に発揮しその活動の場はさらなる広がりを見せています。行政や他職種からも私たち理学療法士に対し多くの期待を頂いており、その期待には不断の努力で応える義務があります。この4月に施行される診療報酬・介護報酬の同時改訂は、今後の超少子高齢社会に対応する社会保障への変革となりますが、私たちの職能はリハビリテーションにおける連携と質の強化を求められています。現在私たちが置かれているこのような状況に対し、今後の会員増に対する職域のさらなる拡大、知識と技術を向上するための研修機能の充実、職能内外の連携の強化など私たちが抱える課題を達成していくには、会員からの意見を細やかに吸い上げ、協会からの情報を県士会員に正確に伝えていくことが重要であり、協会及び県士会が有機的な活動を図る役目を担うのが代議員と考えます。私は兵庫県理学療法士会で平成13年から保健福祉部員、平成24年から財務部長として士会運営に携わってきました。この経験を活かし代議員として協会と士会とのパイプ役を果たし、あらゆる分野で理学療法士がより一層活躍できるよう、私自身微力ではありますが取り組んでいきたいと考えて立候補いたしました。何卒皆様のご支援をよろしくお願い致します。



氏名 岩井 信彦

都道府県士会 兵庫県

年齢 61

勤務先名称 神戸学院大学総合リハビリテーション学部



氏名 間瀬 教史

都道府県士会 兵庫県

年齢 52

勤務先名称 甲南女子大学看護リハビリテーション学部

### 協会・士会役員歴

平成16年度～平成26年度 兵庫県理学療法士会 副会長  
 平成27年度～現在 兵庫県理学療法士会 会長  
 平成17年度～現在 日本理学療法士協会 代議員

### 協会・士会役員歴

日本理学療法士協会役員  
 平成27年～29年 理事, 学会運営審議会審議員  
 平成27年～現在に至る 理学療法ハンドブック作成執行委員  
 平成28年～現在に至る 臨床実習教育の手引き作成執行委員  
 平成17年～平成27年 代議員  
 平成18年～平成25年 教育部部員  
 平成25年～平成27年 教育制度委員会委員  
 兵庫県理学療法士会役員  
 平成7年～現在に至る 理事  
 平成25年～現在に至る 副会長

### 立候補の趣旨

私たち理学療法士は運動機能を評価し、生活という視点で分析し対応できる数少ないプロフェッションです。運動を治療の手段として用い、生活機能を向上させる職能は医療分野だけではなく、保健分野、介護予防分野、健康増進分野でも十分に活かすことが可能です。しかし、私たちを取り巻く環境は決して甘くありません。本年4月に行われる診療報酬と介護報酬の同時改訂に向け、医療、福祉関連職種は生き残りをかけ必死に自らの職能を高めようとしています。今回の同時改訂は2025年以降の超高齢社会における日本の社会保障制度を占む重要な改訂であり、地域医療構想と地域包括ケアシステム構想の推進を後押しするものとなるでしょう。私たち理学療法士が今後も社会で必要とされる職種であり続けるためには、この2つの施策がめざすところを遺漏なく汲み取り、われわれの行動に置き換えていかなければなりません。

このように現実をしっかりと見据え、職域の拡大、研修機能の充実など私たち理学療法士が抱える課題を達成していくには、きめ細かく会員からの意見を吸い上げると同時に、協会の活動方針を県士会員に正確に伝えていくことが重要であり、この役目を担うのが代議員です。

私は兵庫県理学療法士会で平成9年から理事、平成16年から副会長、平成27年からは会長として士会運営に携わってきました。平成17年からは日本理学療法士協会代議員を務めています。この経験を活かし今後も代議員として協会と士会とのパイプ役を果たしていきたいと考えています。皆様、何卒よろしくお願い致します。

### 立候補の趣旨

医療・介護制度を含めて理学療法士を取り巻く社会が大きく変化していく中、日本理学療法士協会（以下協会）には、教育・学術・公益・職能・政治活動をバランスよく、かつ有機的に働かせることが求められます。一部の活動が突出していてもどこかに歪みが生じます。私は、協会で臨床実習教育の手引き作成、理学療法ハンドブック作成、管理者研修など、多岐にわたる業務を担当しています。また、兵庫県理学療法士会でも副会長の立場で、学術局の担当、管理者ネットワークの形成、連盟との関係など、教育・学術・公益・職能・政治活動をバランスよく担当させていただいております。

この経験を活かし、これらのさらなる発展・実行を目指し、代議員に立候補いたしました。どうぞよろしく申し上げます。



氏名 沖山 努

都道府県士会 兵庫県

年齢 58

勤務先名称 神戸リハビリテーション病院

### 協会・士会役員歴

協会役員歴  
代議員；平成9年4月～現在  
士会役員歴  
理事；平成7年4月～現在  
事務局長；平成15年7月～平成27年3月  
副会長；平成16年4月～現在

### 立候補の趣旨

私はこれまで、事務局長として主に管理部門を中心に士会活動を続けてきました。その中で、若い会員を中心として、協会から退会する方を多く目にし、組織率の低下が深刻であるという危機感を抱いています。退会する理由として、「メリットを感じない」という意見が多く、何のために組織に所属しているのか、という点に疑問を抱いておられることが伺えます。協会は今までも、新人教育プログラムや生涯学習プログラムを改定し、専門・認定理学療法士制度を、他団体と比較しても遜色ないレベルに引き上げようとしています。個人としてのスキルアップに資するこのような取り組みは、当然会員にとってのメリットです。しかし、現場で働く多くの理学療法士にとって、組織に所属する最大のメリットは待遇面の改善や、やりがいといった労働環境の整備ではないでしょうか。そのため方法の一つとして、組織率を向上させるということが挙げられます。高い組織率が協会活動を後押しし、それが我々の職場環境改善にもつながると考えています。組織率を高めるためには、組織に所属していることに対する明確なメリットを打ち出す必要があります。それには現場の生の声を、少しでも多く協会に伝える必要があります。これまで20年以上にわたって代議員として活動してきた経験を活かして、今後とも臨床現場の実状を、協会役員の方々に知ってもらうべく、再度代議員に立候補いたしました。皆様のご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。



氏名 木澤 清行

都道府県士会 兵庫県

年齢 41

勤務先名称 (株)Steps

### 協会・士会役員歴

1999年 兵庫県理学療法士会 東神戸ブロック 運営委員  
2004年 兵庫県理学療法士会 神戸(東)ブロック ブロック長  
2005年 第18回兵庫県理学療法士会 準備委員長  
2013年 第25回兵庫県理学療法学会 準備委員長  
2015年 兵庫県理学療法士会 卒後教育部 部長  
2016年 兵庫県理学療法士会 総務部 部長

### 立候補の趣旨

地域におけるチーム医療を充実させることが必要と考えており、他職種との連携を深める必要性を感じております。また、在宅を担う理学療法士の1人として、急性期と生活期の連携強化を推進する必要があります。このような立場で日本理学療法士協会の方向性をチェックし、情報を共有したいと考えております。





氏名 足立 千秋

都道府県士会 兵庫県

年齢 49

勤務先名称 丹波市立こども発達支援センター

### 協会・士会役員歴

平成11年～平成23年 兵庫県理学療法士会 保健福祉部 部長  
 平成24年～現在 兵庫県理学療法士会 こども生涯支援部 部長

### 立候補の趣旨

医療保険や介護保険の改定が大きく扱われる中、こどもを取り巻く環境も大きな変化があります。その子どもに対しての対策や考え方を協会へ届け、やがては国を動かしていくような提案などが出来ればと思っております。こどもたちや保護者の方、そして関係する私たちの声を協会に届けたいと思っております。微力ではございますがお手伝いできればと思い、ここに立候補する所存でございます。



氏名 西川 仁史

都道府県士会 兵庫県

年齢 55

勤務先名称 甲南女子大学看護リハビリテーション学部

### 協会・士会役員歴

平成9年度～平成15年度 (社団法人) 兵庫県理学療法士会 西播磨ブロック長  
 平成16年度～現在 (一般社団法人) 兵庫県理学療法士会 理事  
 平成22年度～現在 (公益社団法人) 日本理学療法士協会 代議員

### 立候補の趣旨

国民医療費は毎年ほぼ1兆円の増加がみられ、平成27、28年度は4.1兆円台に達しています。団塊の世代が75歳以上になる2025年に向け、増大する医療・介護費用の伸びを抑制する対策として、間近に迫った診療報酬、介護報酬の同時改定もその範疇を見据えたものですが、安堵できる改定になるには厳しい状況と考えます。年齢別人口は65歳以上（特に85歳以上の後期高齢者）の伸び率が高く医療費の割合はほぼ60%で、一人当たり約74.2万円に達しています。対して生産年齢層である65歳未満の人口比率は減少し続け少子高齢化が進んでいます。財源確保の消費税率10%（2019年10月の予定）が施行されたとしても、医療・介護費用の抑制対策に如何ほどの一助となり得るのか予想できません。そこで、健康寿命の延長、スポーツ障害などの予防理学療法、在院日数の短縮に貢献する医療理学療法、在宅復帰支援、生活機能を守るためのまさしく地域包括ケアシステムを進展する生活期理学療法において、現下で理学療法士に何ができるのかをしっかりと示し認知度を一層向上させていくことが大切です。これは我々の給与保証にも直結していくことでもあります。会員数は着実の増加しており、平成29年度現在約11万名で46%が30歳未満の会員層です。フレッシュであるが故に未消化な悩みを抱えている会員が少なくないと思います。新生涯学習システムへの移行が明確な目標設定の導線的役割を担えるものとなり、段階的な理学療法士取得に付加価値が備わるものであってほしいと願います。また、会員諸氏が学術面、技術面の質的向上や情報収集力、対外交渉力を研鑽し予防・医療・生活期理学療法の充実を図れるよう協会、県士会との橋渡し役の代議員として引き続き貢献できればと考えております。鋭意努力いたしますので、よろしくお願いいたします。



氏名 岡 英世

都道府県士会 兵庫県

年齢 54

勤務先名称 順心リハビリテーション病院

### 協会・士会役員歴

1996年～2006年 保健福祉部部員  
2014年～2016年 兵庫県理学療法学会運営部長  
2015年 兵庫県理学療法士会理事 総務担当  
2016年 日本理学療法士会代議員

### 立候補の趣旨

この度、日本理学療法士協会代議員に立候補をさせて頂きたく届けを出させていただきます。現在理学療法を取り巻く環境は大きく変革しています。その中で、理学療法士の立ち位置を守るためには会員の声に真摯に耳を傾け、一方では行政機関との連携が必要だと考えます。

私はこの15年間兵庫県において圏域支援センターのお仕事をさせて頂く中で、健康福祉事務所、各市町の担当者の方との連携体制の重要性を学ばせて頂きました。地域支援事業、地域ケア会議、総合事業に関わらせて頂く中で、理学療法の今後を考える機会を頂きました。

一方では、280名を超えるセラピストの責任者として医療・介護の場面において、いかに個々のスタッフの満足度を高めることに努力してきました。

今後は、更に理学療法の発展に役立つようさらに邁進して参る所存です。何卒ご支援のほどお願いいたします。



氏名 藤井 幸

都道府県士会 兵庫県

年齢 48

勤務先名称 姫路市役所

### 協会・士会役員歴

### 立候補の趣旨

時代がどんなに変化しても、対象者の健康を守り当たり前の生活の実現に役立つという理学療法士の役割は普遍的なものです。

私たちの存在価値を維持できるよう、会員が時代の変化を理解し今にふさわしい仕事を行うための情報共有を、兵庫県士会の代表としてスピード感を持って行いたいと考えています。

どうぞよろしく願いたします